



## ボランティア部会 ワークシート

皆が持っているボランティアのイメージはどんなものだろう？ボランティア同士・子ども大使・ホストファミリーそれぞれの立場から見てのボランティアの理想像を考えて書いてみよう！

例) 笑顔、担当している役割を理解している など

### ボランティアから見た……ボランティアの理想像



はっきり話す人 責任を持って活動している人 気軽に話しかけられる人 (雰囲気)  
社交的な人 自分自身がボランティア活動を楽しんでいる人  
(同じ目的を持っているのだから) 年齢立場は関係なく自分の意見を言える人  
その場の空気を読める人 行事・活動が好きな人 優しい人  
初めての人・困っている人に自然に声かけが出来る人  
与えられた仕事だけでなく、率先して動く人 挨拶ができる人  
人の目を見て話せる人

### 子ども大使から見た……ボランティアの理想像



優しい人 面白い人 子どもの目線で考えられる人 親しみやすい人  
子どもを後押ししてくれる人 笑顔の人 常に周りを見渡して声を掛けてくれる人  
挨拶ができる人 人の目を見て話せる人 その場の空気が読める人

### ホストファミリーから見た……ボランティアの理想像



頼れる人 子どもの安心して預けられる人  
ホストファミリーさんと子どもとの時間を大切にしてくれる  
表に出ず、影で温かく見守ってくれる人  
子ども大使とホストファミリーさんを上手く繋げてくれる  
行事・活動が好きな人 質問されてオロオロしない人 挨拶ができる人  
人の目を見て話せる人 その場の空気が読める人

## 【伊藤】

本日は交流会のテーマを決めるために、「ボランティアの理想像」についてのワークショップを行います。まず、自分が部会長としてボランティア部会のメンバーに望むことについて話したいと思います。「ボランティア部会は他の部会に比べ陰的な部会。ボランティア登録会はこの部会が主催で新規の方に説明をしているが、それ以外の場面ではほとんど表に出ることはありません。しかし、ボランティア部会のメンバーには他部会を引っ張るリーダー的な存在として活動してもらいたいと思っています。その理由はワークショップの最後にまた言いたいです。

ワークショップ用の紙面(上書式)にボランティア・こども大使(JA)・ホストファミリー(HF)の各立場から見たボランティアの理想像を記入してください。つまり、リーダー(わかりやすく言うと部会長など)や部会メンバーに「こんな人がいたらいいなあ」とか「こんなボランティア仲間がいたらいい」という理想像です。JAから見た私達ボランティアは、お兄さん、お姉さんという立場。どういう人がいたら頼りになるのか、どういう人がサポートすれば他のこども大使(JA)とより仲良くなれるかなどを考えてもらいたいと思います。ホストファミリーさん(HF)から見たボランティアはAPCCのスタッフの一員。ホストファミリー(HF)から見てどういうスタッフがいたら、ホームステイ(HS)期間中に安心して過ごすことが出来るだろうか等、各自考えてみてください。その後グループを組んでアイデアを出し合います。

～グループの中で意見の交換・共有～

みんなで、『全ての立場(ボランティア⇔ボランティア、JA⇒ボランティア、HF⇒ボランティア)に共通して理想といえるもの』(黒字)と『各立場において特有な理想』(青字)に分けました。そこで、まとめに入ります。

末永:人として魅力的な資質が欠けているとクレームが出ることもあります。(いくつか例を提示)

伊藤:「人として、リーダーとして魅力的な資質を磨く」ことを目標として、そのために出来る研修会・講演会・交流会など、どういう形態でもよいのでこれから企画をしていきます。今日の感想を一言ずつお願いします。

釜谷:周りから見てこういう人が理想だなという人物像が分かりました。

西浦:リーダーとして大切な資質は部活の部長や生徒会長も持っているものだけれど、リーダーとしてだけでなく、普通の人間としても持っていなければならないものだと思います。また、人として魅力的な資質を持っていれば、青字の『リーダーとしての資質』も持つことが出来るのではないかと思います。

大石:人として基本的なことが出来ていれば、どこにいても理想なのだと思います。

山田:「ボランティアをするにあたって大切なこと」という視点から、あらためて見つめなおすことが出来ました。ホワイトボードに書いていくことで、「自分は出来ているかな」という部分もあって、それらを明らかにする機会が持てました。

伊藤:今後の交流会の中で、現在のボランティアがまだ達成できていない部分・弱点を克服できるようにするような交流会が企画するとしたらどういうものが考えられますか。

西浦:初対面の人とたくさん会話を交わすプログラムがあるといいと思います。

伊藤：自分は、今日実施したワークショップを他のボランティアさんを対象としてやってみるといいのではないかなあと思いました。部会の最初に言ったように、ボランティア部会メンバーが引っ張っていくような勢いで、僕が今回仕切って実施した事を今度は皆がやってみたらどうでしょう。1つの意見として考えてみて欲しいです。今日決定しなくてもよいので、次回意見をもらいたいと思います。

## さて!!!

ここからは、口頭で発表していないメンバーの感想も載せます。上と重複する部分もあるかとは、思いますが、みなさん、是非読んでください。

- \* 自分ひとりでは思いつかなかった考えも、みんなで集まって考えるとこんなにたくさんの意見が出るものなのだと思った。まだ部会に参加して2回目で分からないことばかりですが、いろんな年齢の人達が同じ目的を持って活動しているAPCCでは、今日のワークショップで学んだような人として当たり前のことや魅力的な人になれるようなことが、これからのたくさんの活動を通して学んでいけるような気がしました。
- \* リーダーは共通して持っているべきものがある。しかもそれは普通の人間関係においても大事なこと。ということはリーダーである前に人として出来ていなくちゃ！それにちょっとプラスするだけというか、人として出来た人なら、後はなんとか出来るでしょ？
- \* リーダー性のある人はどうしてリーダー性があると思われるのか、人に好かれる人はどうして人に好かれるのかとかの具体的な理由に少しだけれど気づけたし、これから自分が目標とすることをを見つけられたと思う。
- \* 『ボランティアをする上で大切なこと！』という視点から多くのことを考える機会を得た。ボランティアをする中で当たり前のことではないか？と思う意見でも全ての意見をホワイトボードに書き込んで見てみると、意外と全てを完璧に自分自身が出来ると自信があるかというところではない。細かく話し合っていくことも大切だと思った。
- \* 人として大切なことをできる人はどのようなことにおいても理想(?)となる。自分には何が足りていないのかに気づくことが出来れば、改善できると思った。
- \* 周りから見て「こんな人が理想だな」と思われる人物像を！

## さらに!!!

ワークシートの裏面に書いていただいた『ボランティア登録のきっかけ』と『再登録の動機』についてです。

### 【登録のきっかけは?】

- \* ボランティアに参加する前はあるサークルに入っていたのですが、色々な人と接することは自分にとってプラスになることが多いということを学びました。APCCは色々な年齢や立場の人と同じ目的を持って行動することができるので、必ずプラスになると思って参加しま

した。

- \* 友達に誘われたから
- \* 特にすることがなくて、このまま高校生活が終わるのは嫌だったから
- \* マザーテレサに共感したから
- \* 多くの人の話を聞いて、こんな考えがあるのかと学ぶことがあると思って興味本位で参加した
- \* 面白そうだったから

【なぜ再登録したの？】

- \* ボランティアに仲間ができたから
- \* 活動が楽しいから
- \* 自分にとって、何か得られるものがありそうだから
- \* 子供達とたくさん触れ合うことができ、楽しかったのでこれからも続けようと思った。

## 最後に!!!

伊藤部会長が今回のワークショップのまとめとしてこんなものを描いてくれました。

「人として大切なもの」を土に、「各立場から見てのボランティアの理想像」を花に例えたものです。この絵を見て、自分の中で「人として」「リーダーとして」の理想像を立てて見てください。

